

おおがわら千本桜スポーツパーク整備・維持管理運営事業 住民説明会

(8/29 (土) 午前の部)

1. 開催概要

- ・ 令和8年8月29日(土)9時30分から10時27分
- ・ 参加者数:10名

2. 質疑回答概要

No.	質問	内容	回答
1	猛暑・豪雨対策及び施設の安全性	屋外空間の暑さや白石川沿いの浸水に、どのように対応するのか。	屋根・空調の設置、植栽による日陰を確保することで対応。危険な豪雨等が予測される場合は、町と協議の上で臨時休場し安全を優先する。
2	町民への情報共有	維持管理状況(収支を含め)町民も知ることができる体制を構築してほしい。	透明性は確保させていただく。 具体的な仕組みについては今後SPC内で検討する。
3	空調設備の充実	管理棟のほか空調設備のある施設はあるのか。	空調設備があるのは管理棟のみ。 屋外については屋根や樹木による日陰をクールスポットとして活用。

おおがわら千本桜スポーツパーク整備・維持管理運営事業 住民説明会

(8/29 (土) 午後の部)

1. 開催概要

- ・ 令和8年8月29日(土) 2時00分から3時54分
- ・ 参加者数：23名

2. 質疑回答概要

No.	質問	内容	回答
1	町民の意見を反映させる機会	町民の意見を取り入れることでより充実した施設を目指してはどうか。	イベント時や各施設に意見を徴収できるような仕掛けを検討している。
2	具体的な利用者の想定と施策	利用者確保のための施策はどのように考えているのか。	各団体と連携し大会開催など構想はできつつある。
3	幼児スペース	ちびっこ広場の詳細と天候に応じた対応策を知りたい。	ちびっこ広場は親と子がともに遊べる空間を創る。雨天時にも対応可能なスペースも確保。
4	施設利用料金	施設料金は町内・町外で差を設けるのか。	現時点では同一料金。
5	施設へのアクセス	車でのアクセスをメインとして捉えているのか。	車のほか自転車での来場も多くなると想定している。
6	パークゴルフ場との連携	パークゴルフ場から施設までの道路舗装予定はあるのか。	舗装予定はない。
7	猛暑・豪雨対策及び施設の安全性	屋外空間の暑さや白石川沿いの浸水に、どのように対応するのか。	屋根・空調の設置、植栽による日陰を確保することで対応。危険な豪雨等が予測される場合は、町と協議の上で臨時休場し安全を優先する。
8	調整池の活用方法	利用者の安全確保のために常時監視が必要と考える。	維持管理費の観点からも常時監視は現実的ではない。
9	維持管理運営のビジョン	収益が想定を下回った場合の対応は。	モニタリングにより状況は常に把握しつつ、その都度改善策を講じていく。
10	施設の主役	当施設の柱となり得るものは。	土木設計としては川のテラスを推したい。
11	災害対応	災害時の負担割合は決まっているのか。	状況により町との協議とさせていただく。

おおがわら千本桜スポーツパーク整備・維持管理運営事業 住民説明会

(8/30(日) 午前の部)

1. 開催概要

- ・ 令和8年8月30日(日) 9時30分から10時27分
- ・ 参加者数：8名

2. 質疑回答概要

No.	質問	内容	回答
1	猛暑・豪雨対策及び施設の安全性	屋外空間の暑さや白石川沿いの浸水に、どのように対応するのか。	屋根・空調の設置、植栽による日陰を確保することで対応。危険な豪雨等が予測される場合は、町と協議の上で臨時休場し安全を優先する。
2	大型遊具の高温化対策	猛暑日に遊具が高温となり、子どもがやけどするおそれはないか。	金属より熱くなりにくいポリエチレン素材を使用する。ただし猛暑日には、保護者による遊具の状態確認も必要となる。
3	女性用及び多機能トイレ	女性用トイレの数は十分か。また、障がい者用トイレは設置されるか。	管理棟と屋外トイレ棟に女性用・多機能トイレを設ける。イベント時は仮設トイレの追加も検討する。
4	けが・熱中症時の救護及び医療機関との連携	けがや熱中症に対応する部屋、職員体制、近隣医療機関との連携はあるか。	管理棟に救護・休養スペースを設け、救急研修等を受けた職員を配置する。症状に応じて救急要請又は医療機関の案内を行う。
5	調整池の目的及び対象範囲	調整池は施設内の雨水用か、周辺地域の雨水も対象とするのか。	施設整備に伴う雨水流出量の増加を抑える施設であり、対象は基本的に施設内の雨水である。
6	児童福祉施設等による団体利用及び幼児用トイレ	児童福祉施設等の団体利用を想定しているか。幼児用トイレは設置するのか。	各種団体の利用を受け入れる。幼児専用便器は設けないが、子ども用補助便座等の導入を検討する。
7	町民及び町外利用者の料金設定	町民と町外利用者で、施設利用料金に差を設けるのか。	新施設の料金は未定。町が今後、利用しやすい料金設定を検討する。
8	施設全治の維持管理体制	建物、公園、芝生、植栽等の維持管理は、どの企業が担うのか。	株式会社オーエンスが、建物・設備及び公園全体の芝生・植栽を含めて維持管理を行う。

おおがわら千本桜スポーツパーク整備・維持管理運営事業 住民説明会

(8/30(日) 午後の部)

1. 開催概要

- ・ 令和8年8月30日(日) 2時00分から3時57分
- ・ 参加者数：12名

2. 質疑回答概要

No.	質問	内容	回答
1	桜まつりとの関係及びプロジェクトンマッピングの提案	既存の桜まつりとの関係は。多目的スポーツ広場の膜屋根へプロジェクトンマッピングを投影できないか。	前段：桜まつりではPRブース設置を想定する。 後段：新規提案は歓迎する。プロジェクトンマッピングは費用、協賛、関係者協議を踏まえ検討する。
2	主要建築物の構造、面積及び床仕上げ	管理棟、屋根付きちびっこ広場、多目的スポーツ広場の構造、面積及び床仕上げは。	いずれも鉄骨造で、床面積はそれぞれ約500㎡、約300㎡、約1,850㎡。管理棟はコンクリート、多目的広場はアスファルト舗装を予定する。
3	維持管理運営期間の収支構造及び指定管理料	運営収支の仕組みは。赤字にならないという表現は適切か。	使用料は町へ納付し、指定管理料の範囲で維持管理運営を行う。カフェ、スクール等は独立採算で実施する。
4	サイクリング・ウォーキングロードの区分	サイクリングロードは自転車専用となるのか。歩行時に自転車が怖いと感じることがある。	名称はサイクリング・ウォーキングロードであり、路面表示で区分し、自転車と歩行者の共存利用を想定する。
5	洪水、地震その他自然災害への対応	洪水時の防水、地震時の避難誘導、一時避難、蔵王山噴火への対応は。	管理棟はサイクリング・ウォーキングロードより約60～80cm高く、構造体Ⅱ類で計画している。また、施設用緊急マニュアルとBCPを今後作成し、町と連携して対応する。
6	パークゴルフ場の稼働状況と天候対策	現状でパークゴルフ場の休業が多く、今後も集客や稼働日数に課題があるのではないか。	8月利用は前年同月比約75%。天候に左右される中、屋根による日陰創出や自主事業等の工夫を行う。
7	高齢者、子ども等の施設アクセス	高齢者や自動車を運転しない人、子どもにとってアクセスしづらく危険ではないか。	自動車はさくら大橋側、歩行者等は堤防側からが基本となる。将来の第2駐車場側からのアクセスと高齢者の移動手段を検討する。

No.	質問	内容	回答
8	白石川の中州・寄り洲対策	白石川の中州や寄り洲が洪水リスクを高めているのではないか。	県が中州・寄り洲の掘削、樋門、親水護岸を複数年で順次整備する計画である。
9	供用開始後の意見反映と運営改善	供用後も利用者意見に応じて改善することは可能か。	施設形状の変更は難しいが、運営方法等は柔軟に改善し意見受付体制を設ける。
10	サイクリング・ウォーキングロードの周回化	さくら大橋から産業高校方面を一周できるコースを設定できないか。	現時点で回答は難しく、町への要望として受け止める。
11	桜の適正管理	歩行時に枝が当たるため、こまめに剪定してほしい。	現地を確認し、歩行者が安全に利用できるよう町が適切に管理する。
12	夜間照明の整備	夜間も安心して歩けるようロード沿いに照明がほしい。	施設周辺に照明を設置。その他区間は電源やソーラー照明を含め検討する。
13	S-PARK 間の横断安全対策	にぎわい交流拠点施設と S-PARK 間の道路横断が危険ではないか。	柵や注意看板を設置しているが、自己判断で横断する利用者もいる。今後も注意喚起を強化し、安全対策に取り組む。
14	説明会参加状況及び町民の関心	4 回の説明会参加者数と、町民の関心度を町はどう捉えているか。	4 回の参加者は計 54 名。参加状況を検証し、施設完成後も利用方法の周知と合意形成に継続して取り組む。
15	事業費及び財源構成の周知	国の交付金、町単独費、国・県・町の負担等を、町民にもっと分かりやすく周知すべきではないか。	事業費は町広報等で周知してきた。